

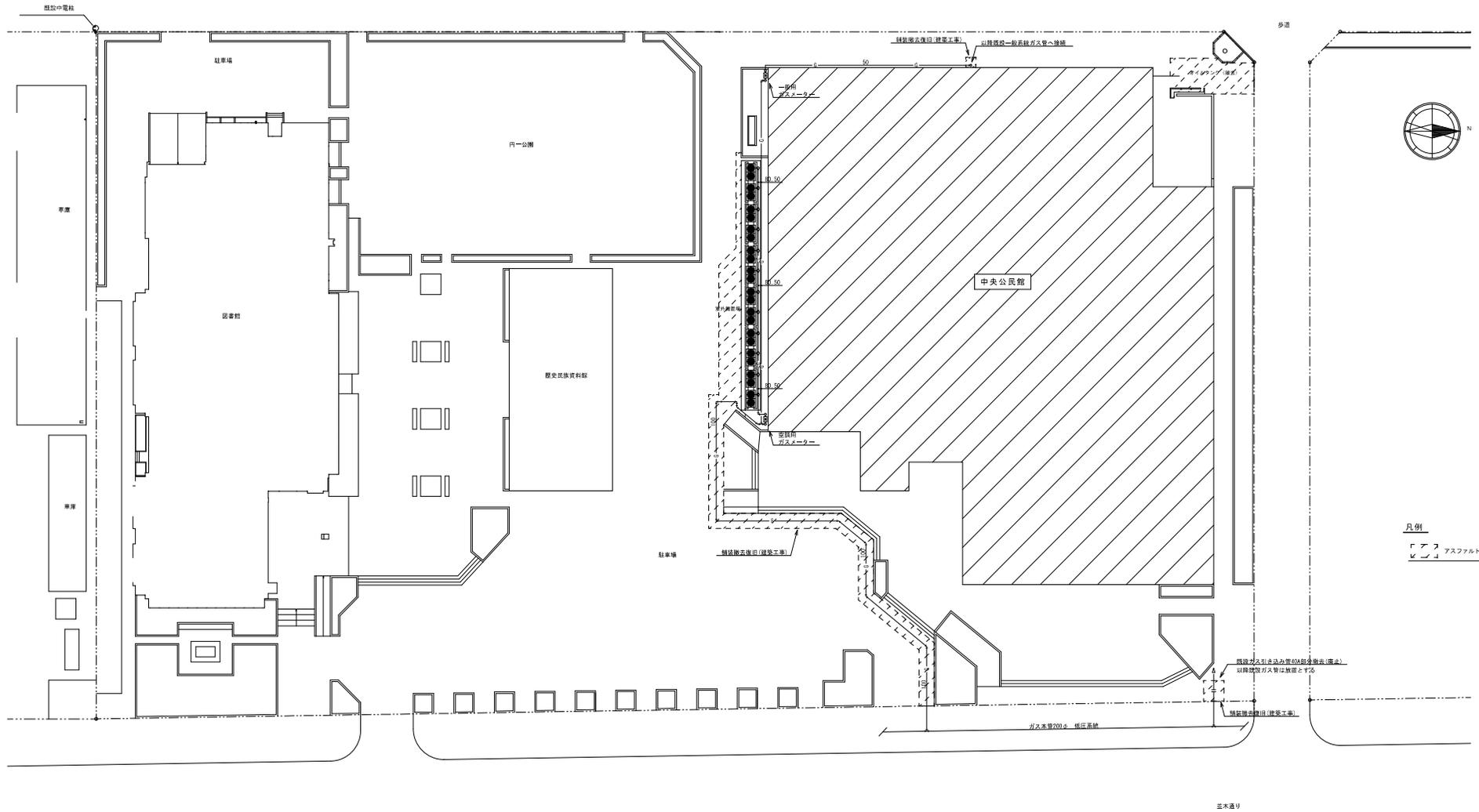
注 1) 区分は、●を、項目は、●を、項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は、○の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。○印 ※印の場合は両方を適用する。

区分	項目	特記事項
衛生設備	1. 大便器・小便器 2. 小便器用洗浄水排水装置 3. 自動栓 4. 和風大便器の耐火処理 5. 衛生器具・排水管接続	陶製注意標を、取付ける(・ 自動洗浄小便器は除く) ・ 取付けない ※ 個別感知方式(電源供給方式 ※ AC100V) ・ 電線(・ 流水電形) 工業用には、電気・水道配管設備を必ず工事する。 電気供給方式 ※ AC100V ・ 電線(・ 流水電形) 標準図(施工6.6(1)) ※ (2) ・ (1) ※ 標準図(施工6.2) ・ 標準図(施工6.3)
給水設備	1. 量水器 2. 量水器併 3. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	(1) 量メーター ※ 借用 ・ 買取り (2) 子メーター ※ 買取り ・ 借用 (1) 量メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57) (2) 子メーター用 ※ 標準図(機材7) ・ 水道事業者の指定品 (1) 一般配管 ※ 塩化ビニル管(SGP-VB) (SGP-FVB) ・ ポリカーボネート管(SGP-PA) (SGP-FPA) ・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ ステンレス鋼管(SUS316) ・ 水道耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) (2) 土間配管 ※ 塩化ビニル管(SGP-VD) (SGP-FVD) ・ ポリカーボネート管(SGP-PD) (SGP-FPD) ・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ ステンレス鋼管(SUS316) ・ 水道耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) (3) 屋外用 ※ 水道耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) 塩化ビニル管(SGP-VD) (SGP-FVD) ・ ポリカーボネート管(SGP-PD) (SGP-FPD) ・ 水道用ポリエチレン管(75~150A) ・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ ステンレス鋼管(SUS316) (4) ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合 (5) 多層管の接合方法 50A以下 ・ 融着継手 ・ 金属継手 75A以上融着継手 (6) ゴム輪接合の場合、直管以外の継手部には融着防止金具とする。 (7) 特記なき配管の最小口径は20Aとする。 (8) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の材質の確認を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン 塩化カルシウム、シリカ、重炭酸イオン
排水設備	4. 弁類 5. 保温 6. 定水栓調整弁 7. 水栓柱 8. 水栓 9. FRP製タンクのマンホール	(1) 弁類 ※ 止水栓 ・ 弁類は水道事業者の指定品とする。 (2) 保温 ※ ステンレス製タンクの保温 ・ 施工しない ・ 共通仕様による(附属品を含む) ・ 水道事業者指定品 ※ 合成樹脂製 ・ 人造石と射出成形 ・ アルミニウム合金製 (1) 屋外の水栓は、キーハンドル ・ 一般栓柱 (2) 台所流し用の水栓柱は泡沫とする。 FRP製及びポリ塩化ビニル管(保温形)は、マンホールも保温形とする。
排気設備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	(1) 一般配管 ※ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管(VP) (第1層まで含む) ・ 排水用塩化ビニル管(VP) ・ 鉛管 ・ コーティング鋼管(・ ノンタルエポキシ ・ 塩化ビニル) ・ 建築物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RF-VLP) (2) 屋内排気管 ※ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管(VP) (第1層まで含む) ・ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 鉛管 ・ 排水用塩化ビニル管(VP) ・ コーティング鋼管(・ ノンタルエポキシ ・ 塩化ビニル) ・ 建築物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RF-VLP) ※ 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) 厨内高温排水 (3) 通気管 ※ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管(VP) ・ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 排水用塩化ビニル管(VP) ・ 建築物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RF-VLP) (4) 屋外排水管 ※ 硬質塩化ビニル管(VU) ・ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ コンクリート管(外径1種B形) ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) ・ 排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(REP-VU) ・ 下水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RS-VU)
ガス設備	2. ガス圧継ぎ器	※ 工場製品(・ SUS製 ・ 鋼鉄製 ・ FRP製) ・ 現場施工品 ・ 耐火保護 ・ 標準図(施工6.6(a))を施工する。 ・ 施工しない
ガス設備	1. 配管材料 2. 液化石油ガス容器 3. ガスメーター 4. 容器継ぎの配管 5. 容器転倒防止 6. ガス漏れ警報器 7. 漏洩検知装置 8. 配管支持金物 9. その他	(1) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管(白管) (2) 一般配管(ピット内) ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ 配管用炭素鋼管(白) (3) 土間配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管(JIS-K6774) (4) 屋内水中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管(JIS-K6774) ・ 10Kg ・ 20Kg ・ 50Kg ・ 本 ※ 借用 ・ 買取り (1) 親メーターは、ガス事業者より借用 (2) 子メーターは ※ 買取り ・ ガス事業者より借用 (3) 子メーターの計量方式は ※ 直読 ・ 遠隔表示 (3) 自動切替式で施工方法は標準図(施工7.2)の(a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図(施工7.3)の(a) ・ (b) ※ 要(取付位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要) ・ 不要 警報器から制御線、通断弁(又はマイコンメータ端子)までの電線等は、別途電気工事 ・ 本工事 ・ 流量検知式(切替形又は圧力検知形) ・ 圧力検知式 ・ ビニル被覆支持金物、又は配管クランプ部を電線防止テープ巻き 都市ガスはガス供給事業者の供給約由による。

給湯設備	1. 配管材料 2. 弁類 3. 保温	※ 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管 ※ 湯沸器、給湯器の付属配管等は製造事業者標準品とする。 ※ JIS又はJIS(5K)とする。ただし、水道直結部分の特記部分は(10K)とする。 湯沸器の給湯配管の暖かい箇所は保温を行う。 h(イ)X
消火設備	1. 消火栓の耐圧 2. 配管材料 3. 保温	※ 10K ・ 16K (1) 屋内消火栓 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 一般配管(ピット内) ※ 外被覆鋼管 ・ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 土中配管用(土間を含む) ※ 外被覆鋼管 (2) 連続給水管 一般配管用 ※ 圧力配管用炭素鋼管 ・ 一般配管(ピット内) ※ 外被覆鋼管 ・ 圧力配管用炭素鋼管 ・ 土中配管用(土間を含む) ※ 外被覆鋼管 (1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する(・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲) (2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する(・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲) (3) 消火配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する(・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲) ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する(・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲) ・ 連続給水管 ※ 施工しない ・ 施工する(・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲) ・ 連続給水管 ※ 施工しない ・ 施工する(・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲) ・ 屋内消火栓 ※ 易操作性1号消火栓箱 ・ 屋内2号消火栓箱 ※ 鋼管製 ・ ステンレス鋼管製(機材による)
新ガス設備	1. 新ガス系消火の配管 2. 配管材料 3. 保温	(1) 不活性ガス ・ IG-541 ・ IG-55 ・ 窒素 (2) ハロゲン化ガス ※ FK-5-1-12 ・ HFC-227ea ・ HFC-23 ※ 手動 ・ 自動 ・ 自動切替式 形式 2. 二酸化炭素消火の配管 1. 配管材料 2. 弁類 3. 保温
浄化槽	1. 処理種別及び方式 2. 形式 3. 処理能力 4. 放流水水质 5. 埋戻し土 7. その他	1. 処理種別及び方式 ※ 小規模併合処理(・ 団体流動方式 ・ 嫌気床接触曝気方式) ・ 併合処理(・ 団体流動曝気方式) ・ 分層接触曝気方式 ※ 併合処理(・ 団体流動曝気方式) ・ 長時間ばっ方式(・ 固液接触方式) 2. 形式 ※ ユニット形 ・ 現場施工 3. 処理能力 処理対象人数 人 処理水量 m ³ /d 流入BOD濃度 mg/l 放流水BOD 以下 BOD 6.0 ・ 3.0 ・ 2.0 ・ 1.0 mg/l 以下 4. 放流水水质 ※ mg/l 以下 5. 埋戻し土 ※ 掘削土中の含有質土(FRP構内は山砂の類) ・ 購入土 3ヶ月分相当を納入する。 性能責任施工とする。 竣工後6ヶ月間流入、放流のSS、BOD、PH、透し度、大腸菌個数等を(※報告する) ・ 報告しない。

区分	項目	特記事項
空調設備	1. 設計用温度条件 2. 冷水・温水・冷温水 3. ドレン管 4. 冷却水管 5. 配管・空気抜・給排水管 6. 空調用給水管 7. 新給気管 8. 蒸気配水管 9. 油・油用通気管 10. 冷凍機 11. 弁類 12. 7/24(4)21	外気条件 室内(調整目標値) 温度 湿度 温度 湿度 温度 湿度 (DB) (RH) (DB) (RH) (DB) (RH) 夏季 33.0℃ 67.1% 25.0℃ 50.0% 20.0℃ 45.0% 冬季 0.1℃ 71.5% 19.0℃ 4.0% 15.0℃ 45.0% ※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ リサイクル被覆ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VLP) 4. 冷却水管 ※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ ステンレス鋼管(SUS304) 5. 配管・空気抜・給排水管 ※ ステンレス鋼管(SUS304) ・ 塩化ビニル管(VP) ・ ポリカーボネート管 6. 空調用給水管 ※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ ステンレス鋼管(SUS304) 7. 新給気管 ※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 塩化ビニル管(VP) ・ ポリカーボネート管 8. 蒸気配水管 ※ 圧力配管用炭素鋼管(STPG370 黒sch40) 9. 油・油用通気管 ※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 鉛管 10. 冷凍機 ※ 断熱材被覆鋼管 ・ 鋼管 11. 弁類 ※ 低圧ダクト ・ 高圧ダクト 12. 7/24(4)21 ※ 低圧ダクト ・ 高圧ダクト
空調設備	1. 天井吊り形FCU 2. 換気扇 3. 空気調和機 4. 出口・吸込口 5. ダクト	天井吊り形FCU ※ 天井吊り形FCUは天井裏に設置する。天井裏に設置する場合は天井裏に設置する。 換気扇 ※ 換気扇は天井裏に設置する。天井裏に設置する場合は天井裏に設置する。 空気調和機 ※ 空気調和機は天井裏に設置する。天井裏に設置する場合は天井裏に設置する。 出口・吸込口 ※ 出口・吸込口は天井裏に設置する。天井裏に設置する場合は天井裏に設置する。 ダクト ※ 低圧ダクト ・ 高圧ダクト (1) 低圧ダクト ・ 高圧ダクト (2) 矩形ダクトは、アングルフランジ工法 ※ コーナポルト工法(・ 共板工法 ・ 3/4(わ)フランジ工法) (閉閉用ダクトはアングルフランジ工法とする。)
空調設備	1. 防炎ダンパー 2. 防煙ダンパー 3. ビストンダンパー	(1) 防炎ダンパーは表示等により区分する。 (2) 防煙ダンパー 復旧方式 ・ 遠隔復旧式(定格入力はDC24V、0.7A以下とする。) (3) ビストンダンパー 復旧方式 ・ 遠隔式 ダクトの長さ 単位mm 矩形ダクトの場合 450以下 0.5以上 0.6以上 450を越え1,200以下 0.6以上 0.8以上 1,200を越え1,800以下 0.8以上 1.0以上 1,800を越えるもの 0.8以上 1.2以上 円形ダクトの場合 (単位mm) 円形ダクトの寸法 ステンレス鋼板 亜鉛鉄板 300以下 0.5以上 0.6以上 300を越え750以下 0.5以上 0.6以上 750を越え1,000以下 0.6以上 0.8以上 1,000を越え1,250以下 0.8以上 1.0以上
空調設備	1. 一般事項 2. ダクト 3. 排出口 4. 排出口及び配管方式 5. 排気風速測定	空調、換気の当該事項を適用する。 ※ 高圧ダクト ・ 高圧ダクト ※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製 3. 排出口 ※ バネ形 (・ 天井取付 ・ 壁取付) ・ スリット形 (・ 天井取付 ・ 壁取付) ・ ダンパー形 (・ 天井取付 ・ 壁取付) 4. 排出口及び配管方式 ※ 電気式(遠隔操作) ※ 不要 ※ 不要 5. 排気風速測定 建築設備定期検査業務基準平成20年度版(附)日本建築学会(昇降機センター)の排気風量の検査方法に準ずる
空調設備	1. 中央監視制御装置 2. 電源装置 3. 温度調節器等 4. 計装工事の記録	1. 中央監視制御装置 ・ 有り(構成機能は図示による) ・ 無し 2. 電源装置 ・ 要(・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要 3. 温度調節器等 取付け高さは ※ 1300mm (1) 屋外、屋内露出の配管は、図示に特記がない限り金属配管とする。 天井埋蔵の配管は、図面に特記のない限りサーフェス配管とする。 (2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般事項17.電線類の規格による。 用途 ①電源線、接地線 ②電気式の調節器(サーモ、ヒューミディ)用電線 ③各種検出器(温度、湿度等)、操作器(バルブ、ダンパー等)における弱電信号、通線線を除く制御線

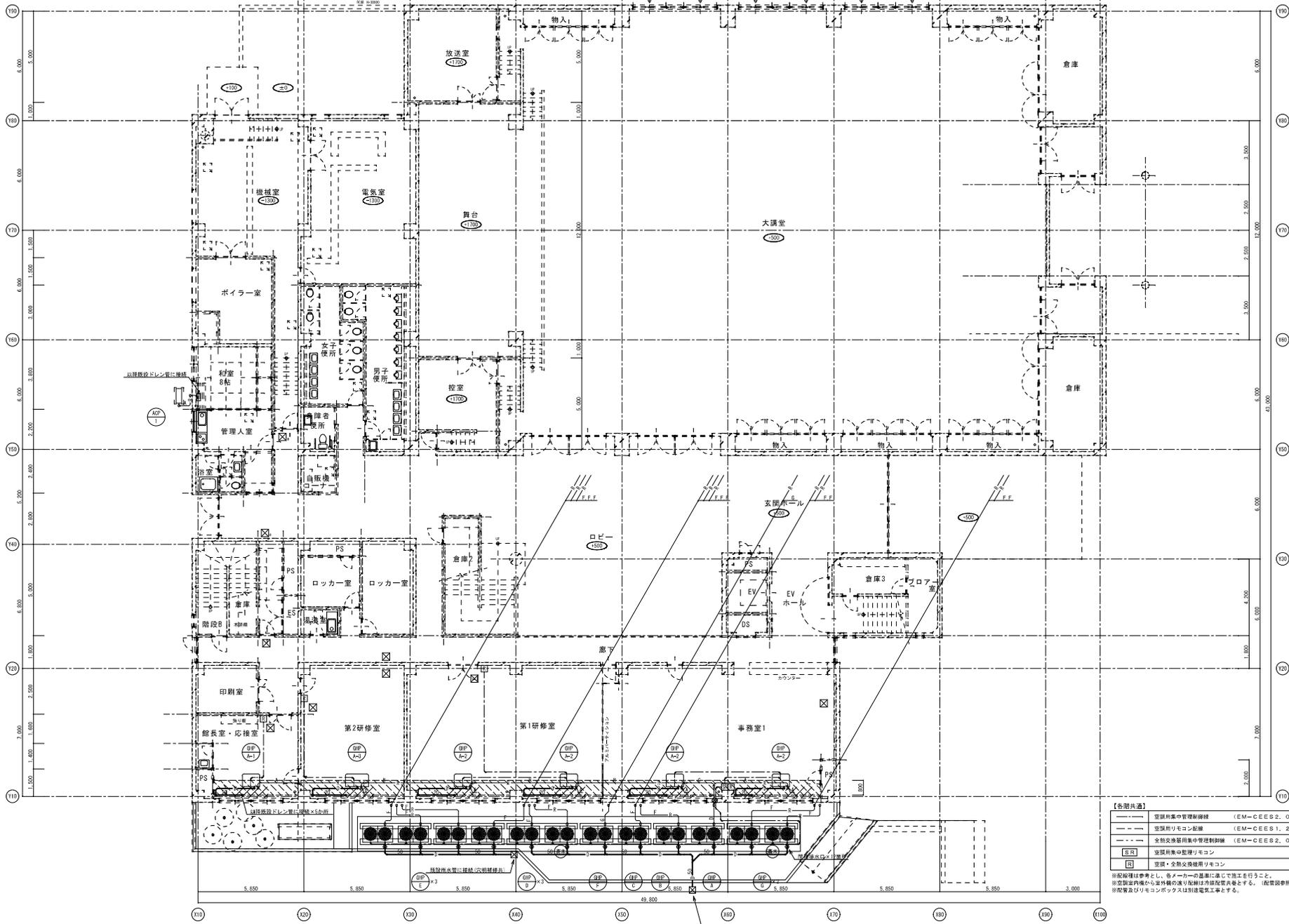
空調設備	1. 風量測定口 2. チャンパー等 3. 消音内貼り 4. グリス除去装置 5. 網漏流量計及び流量測定口 6. 測定用タッピング 7. 測定用タッピング 8. 測定用タッピング 9. 測定用タッピング 10. 測定用タッピング 11. 測定用タッピング 12. 測定用タッピング 13. 測定用タッピング 14. 測定用タッピング 15. 測定用タッピング 16. 測定用タッピング 17. 測定用タッピング 18. 測定用タッピング 19. 測定用タッピング 20. 測定用タッピング 21. 測定用タッピング 22. 測定用タッピング 23. 測定用タッピング 24. 測定用タッピング 25. 測定用タッピング 26. 測定用タッピング 27. 測定用タッピング 28. 測定用タッピング 29. 測定用タッピング 30. 測定用タッピング 31. 測定用タッピング 32. 測定用タッピング 33. 測定用タッピング 34. 測定用タッピング 35. 測定用タッピング 36. 測定用タッピング 37. 測定用タッピング 38. 測定用タッピング 39. 測定用タッピング 40. 測定用タッピング 41. 測定用タッピング 42. 測定用タッピング 43. 測定用タッピング 44. 測定用タッピング 45. 測定用タッピング 46. 測定用タッピング 47. 測定用タッピング 48. 測定用タッピング 49. 測定用タッピング 50. 測定用タッピング	取付位置は図示による。 (1) 取付位置は、接続チャンパー(長さ+100×300×300H)を設ける。 (2) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (3) 取付位置は、接続チャンパー(長さ+100×300×300H)を設ける。 (4) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (5) 取付位置は、接続チャンパー(長さ+100×300×300H)を設ける。 (6) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (7) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (8) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (9) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (10) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (11) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (12) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (13) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (14) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (15) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (16) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (17) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (18) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (19) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (20) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (21) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (22) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (23) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (24) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (25) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (26) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (27) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (28) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (29) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (30) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (31) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (32) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (33) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (34) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (35) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (36) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (37) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (38) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (39) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (40) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (41) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (42) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (43) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (44) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (45) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (46) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (47) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (48) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (49) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。 (50) シーリングディフューザの接続は標準図(施工47)による。
------	--	---



配置図 5:1/200

※室外機用ドレン配管は簡便排水とする。
 ※室外機へのガス配管接続時の付属品(強化ガスホース、圧力取付タップ、ストレーナ、ガスコック等)は本工事とする。

御注文先	三原市殿	御承認		記 事	月 日	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 550-0 1級建築士事務所 登録18(1)第1252号 1級建築士登録 第 295085 号 藤本 謙二 1級建築士登録 第 202345 号 坂本 寛	校 閲		工事名称	三原市中央公民館空調換気設備改修工事 (機械設備工事)	図面番号	M-04	
							設 計		設計年月日	2021.03	図面名称	改修後 空調和設備 配置図	縮尺



【各階共通】

—●—	空調用集中管理制御線 (EM-CES2, 0'-2C)
—○—	空調用リモコン配線 (EM-CES1, 2'5"-2C)
—□—	全館空調設備用集中管理制御線 (EM-CES2, 0'-2C)
[S 区]	空調用集中監視リモコン
[R]	空調・全熱交換機用リモコン

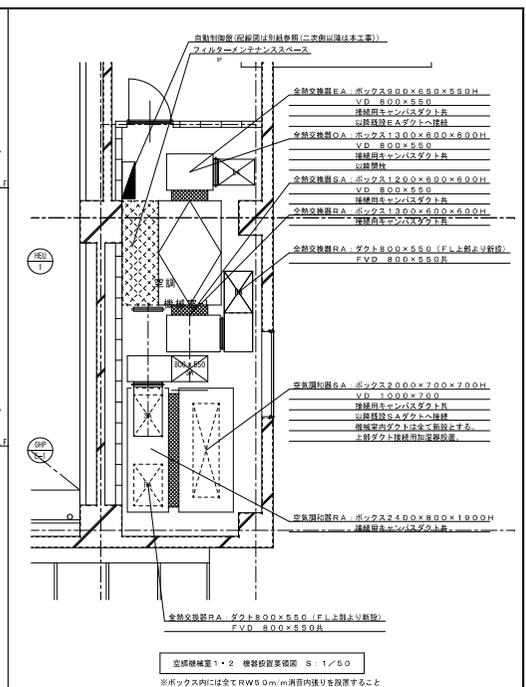
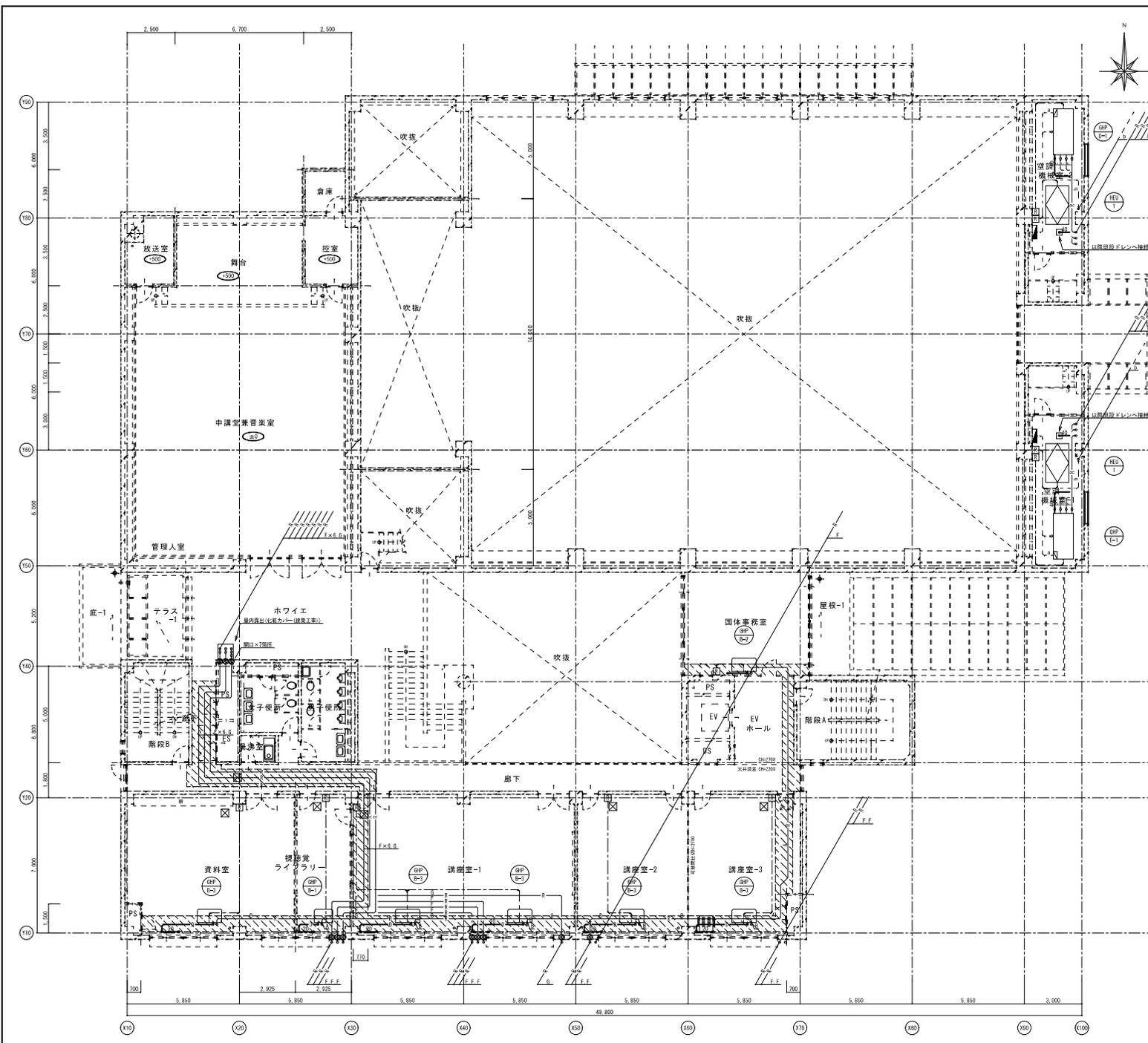
※設備仕様等として、各メーカーの設置に準じて施工を行うこと。
 ※空調設備内蔵の室外機は、後述の図面に記載する。 (設備設置参照)
 ※配管及びリモコンボックスは別途電気工事とする。

冷媒配管表

○	8.42.12.7φ
○	8.42.15.9φ
○	8.42.22.2φ
○	12.12.25.4φ
○	12.12.28.6φ
○	15.42.38.6φ
○	18.12.38.1φ

1階平面図 S:1/100
 ※はダイヤモンドカッター穴明け等施工を示す

御注文先	三原市殿	御承認	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL (082) (255) 550-0	1級建築士事務所 登録18(1)第1252号 1級建築士登録 第 295085 号 藤本 謙二	1級建築士登録 第 202345 号 坂本 寛	校閲 [坂本]	設計 [坂本]	設計年月日 2021.03	工事名称 三原市中央公民館空調換気設備改修工事 (機械設備工事)	図面番号 M-05
記事	月日								図面名称 改修後 空調調設備 1階平面図	縮尺 1/100



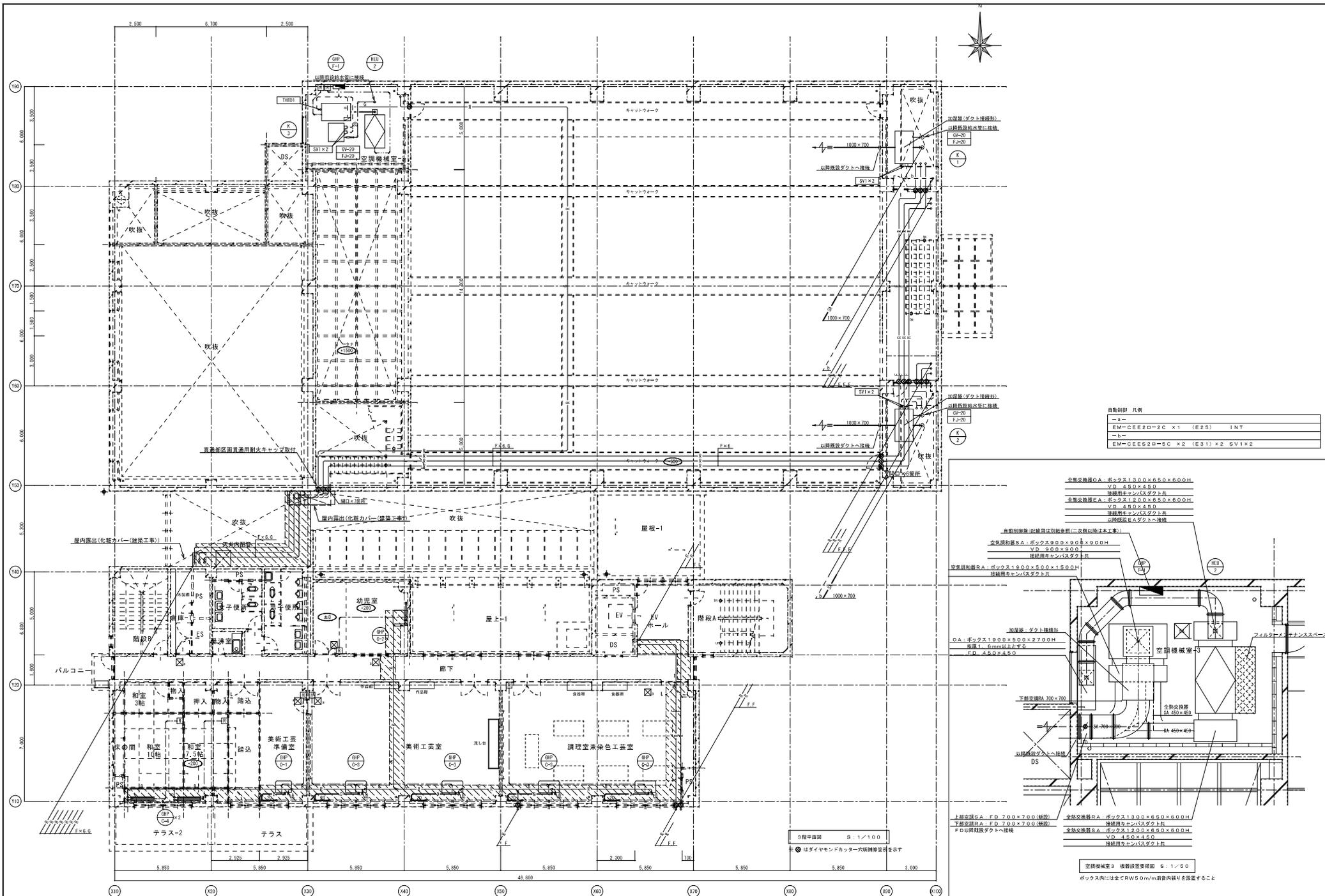
自動制御 機器凡例

シンボル	記号	配線	記号
○	THED1	EM-CEE2P-4C × 1	(E25)
□	SV1	EM-CEE2P-5C × 1	(E31)

自動制御 凡例

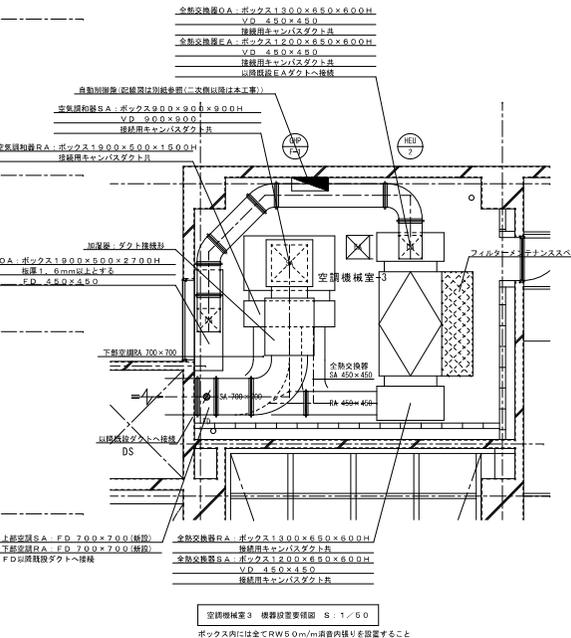
—a—	EM-CEE2P-2C × 1 (E26)	INT
—b—	EM-CEE2P-5C × 2 (E31) × 2	SV1 × 2

2階平面図 S:1/100
 ※ はダイヤモンドカット穴明細書参照を示す



自動制御 凡例

—a—	EM-CES2D-2C x1 (E25) INT
—b—	EM-CES2D-5C x2 (ES1) x2 SV1 x2

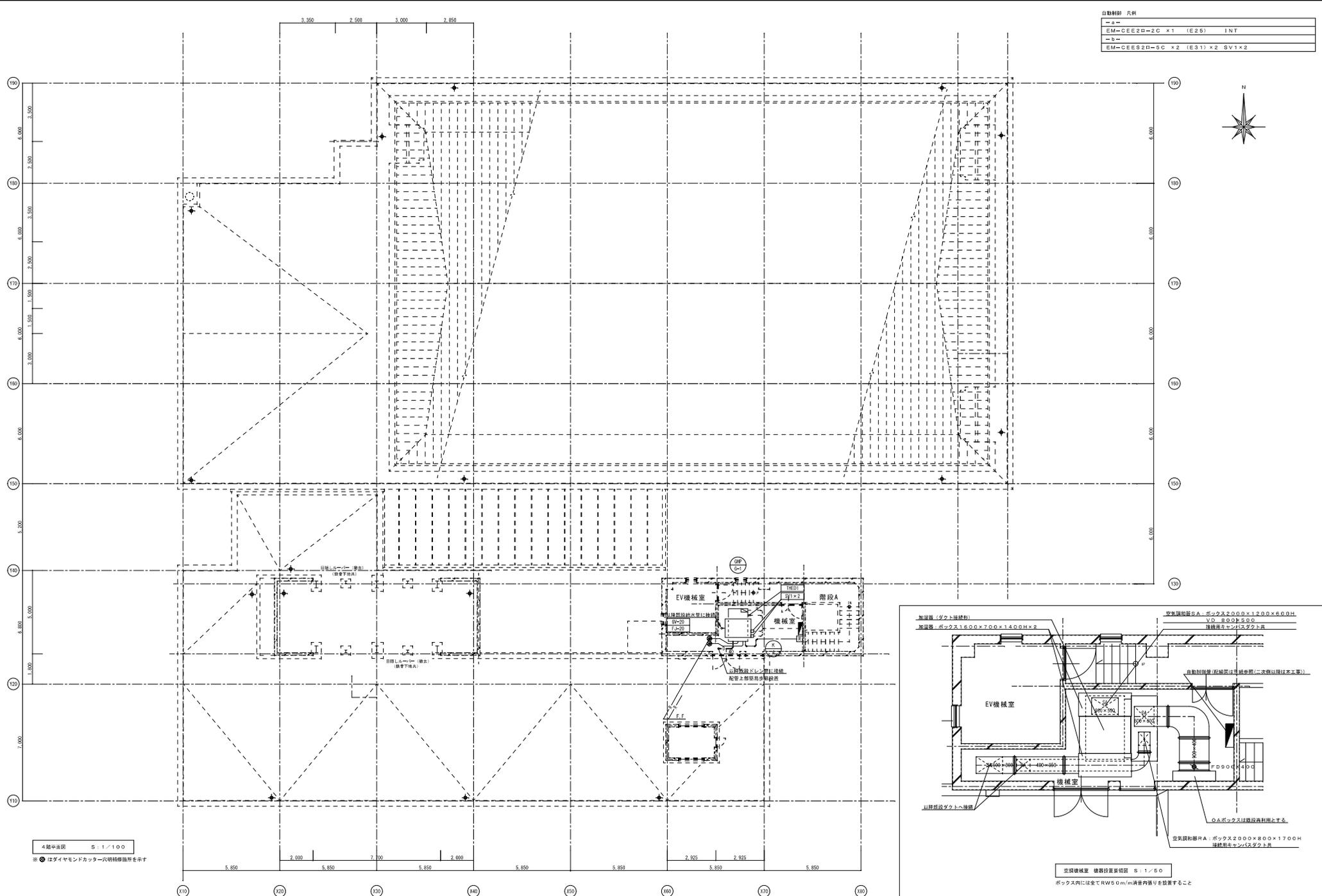


3階平面図 S:1/100
 ●はダイヤモンドカット穴開き位置を示す

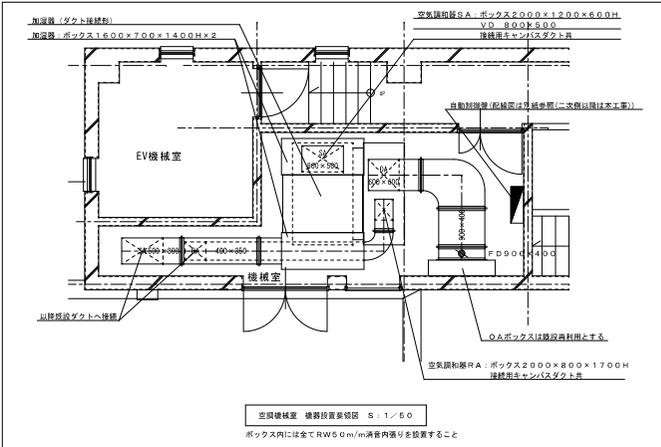
空調機3 機器設置要領 S:1/50
 ボックス内には全てRW50mm/100mm角内径リネン管を使用すること

御注文先	三原市役	御承認	記	日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL (082) (255) 550-0	1級建築士事務所 登録18(1)第1252号 1級建築士登録 第 295085 号 藤本 謙二	1級建築士登録 第 202345 号 坂本 実	校閲 (印)	工事名称 三原市中央公民館空調換気設備改修工事(機械設備工事)	図面番号 M-07
			事				設計 (印)	図面名称 改修後 空気調和設備 3階平面図・空調機3機器設置要領図	縮尺 1/100 1/50	

自動制御 凡例
EM-GEE2D-2C x1 (E2S) INT
EM-GEE2D-5C x2 (E31) x2 SV1x2



4階平面図 5:1/100
 ※ はダイヤモンドカット穴明細図面を示す



空調機械室 機器設置要領図 5:1/50
 ボックス内には全てRWS50m/m満管内張りを設置すること

御注文先	三原市役	御承認		記	月日	中電技術コンサルタント株式会社	1級建築士事務所 登録18(1)第1252号	1級建築士登録 第 295085号	1級建築士登録 第 202345号	坂本 謙二	坂本 業	校閲	設計	工事名称	三原市中央公民館空調換気設備改修工事 (機械設備工事)	図面番号	M-08		
				事		広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 550-0								設計年月日	2021.03	図面名称	改修後 空調調和設備 4階平面図・空調機械室 機器設置要領図	縮尺	1/100 1/50

特記事項

- 1 空気調和設備に伴う配管工事を行う。
- 2 機械室及び室内配管部分の配管(材質品目)・ダクト(材質品目)・支持金物等の仕様は全て本工事にて行う。
- 3 設備確認の上で利用できる配管及びダクトがある場合は監督員と協議し決定すること。
- 4 設備体の配管内水抜きは本工事にて行うこと。
- 5 撤去後の空室の清掃等は全て本工事にて行うこと。
- 6 撤去箇所は必ずしも空気調和設備及び自動制御設備には再度システムを復旧して確認し支障のないもののみを撤去すること。
- 7 オイルタンク撤去に伴う抜粋部分・濃縮は別途工事。

記号	種別	材質	備	備考
	給水管	塩化ビニル管(黒)	SGP-VA	バルブ種 JIS10K
	引込給水管	ステンレス鋼管	敷地内仕込用塩化ビニル管(SGP-VB)	JIS10K JIS10K
	給湯管(往)	銅管	JIS H3603 M型	
	給湯管(還)			
	通気管	水通信用鉛メッキ鋼管	JIS G3442	
G	ガス管	炭素鋼製メッキ鋼管	JIS G3442	バルブ種 JIS10K
X	湯火管	水通信用鉛メッキ鋼管	JIS G3442	
	雑排水管			継手 20ネジ継手 JIS5K種 JIS 5K
	汚水管	タール防腐シロキレン管	φ 42.5	ワンマン継手
VP	屋外排水管	硬質塩化ビニル管	KG741	敷地内土中配管
HP				
A型	消火栓	速切力鉄筋コンクリート管	A5303	敷地内土中配管
B型			A.B.C薬液(粉末30) 10型	
	屋内消火栓BOX		(粉末60) 20型	
	給水栓		防錆型(150×125×150)	
	給湯栓			
K	混合水栓			
	エアネット			
	ガスバルブ			
GV	仕切弁		JIS10K, JIS 5K	
SV	玉形弁		JIS10K, JIS 5K	
	逆止弁		JIS10K	
	ボールタップ(様式)			
	7Lニール継手	ステンレス製		
	メーター類			
	汚水枘		珪藻石 防臭型鋼製型ニール 巾向き継付(6TON耐重)	
	雑排水枘			
	人孔枘		防臭耐震型ニール蓋付	
	散水栓(DOX SUS)		ボックス寸法 150 x 220 x 150	
	洗浄弁			
	テースト弁			
	直気金物		YC	
	床工掃除口			
	床下排水金物			
HS	湯水管(往)	水通信用鉛メッキ鋼管	JIS G3442	
HR	湯水管(還)			
E	膨張管			
CDR	冷却水管(往)			
CDS	冷却水管(還)			
RL	冷却管(往)	銅管	H3603 L型	
RG	冷却管(還)			
	給水管	塩化ビニル管(黒)	SGP-VA	
D	トレン管	水通信用鉛メッキ鋼管	JIS G3442	
E	膨張管			
	仕切弁		JIS10K, JIS 5K	
	逆止弁		JIS10K	
	自動エア弁			
FJ	7Lニール継手	ステンレス製		
EXPJ	伸縮継手(様式)	スライド型		
	ボールタップ(様式)			
	三方弁			
	電磁弁			
SA	給気ダクト	亜鉛メッキ鋼板		
RA	送気ダクト			
OA	外気ダクト			
EA	排気ダクト			
VD	屋上換気タンク	銅板製		
FD	防火タンク			
SFD	防煙防火タンク			
SD	防煙タンク			
FVD	防火防煙遮断タンク			
MD	モータータンク			
PD	ガス圧タンク			

空調機器表(1)

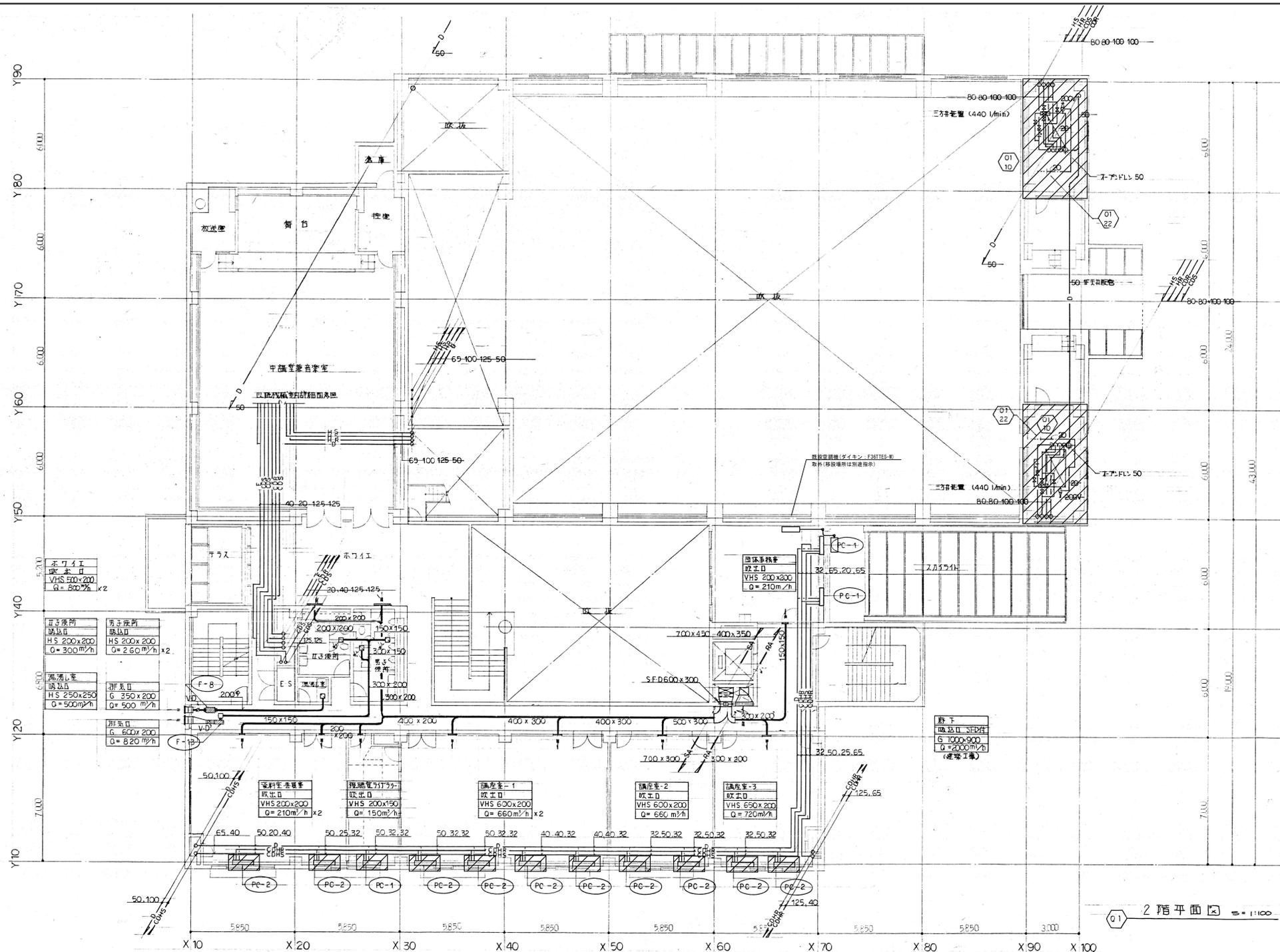
機器番号	機器名称	系統名	設置場所	仕様	台数	能力				備考	
						相(φ)	電圧(V)	出力(KW)	送風方式		
PAC-1	パナソニック型空調機(水冷式)	大講堂用	2F 機械室	冷房能力 133,000 Kcal/hr 暖房能力 95,000 Kcal/hr 冷却水 38.3 m³/hr (32°C入口~37°C出口) 送風機 320 l/min 圧縮機 24,000 m³/hr × 60mmφ (機外) 送風機 60 l/hr 加圧機 7.1レド型 ユニツト型	2				人-Δ CT-1 CDP-1	ファンコイル型 350W 圧縮機 240W 送風機 (金属ファン) 240W 加圧機 (金属ファン) 240W	
PAC-2	パナソニック型空調機(水冷式)	小講堂用	2F 機械室	冷房能力 74,000 Kcal/hr 暖房能力 54,000 Kcal/hr 冷却水 19.9 m³/hr (32°C入口~37°C出口) 送風機 190 l/min 圧縮機 14,400 m³/hr × 50mmφ (機外) 送風機 12.5 l/hr 加圧機 7.1レド型 ユニツト型	1				人-Δ CT-1 CDP-1	防振設置(金属ファン) 防振 基礎台 (金属) 1台	
PAC-3	パナソニック型空調機 オールフレッシュ型(水冷式)	各教室・事務室用	3F 機械室	冷房能力 107,000 Kcal/hr 暖房能力 149,000 Kcal/hr 冷却水 20.1 m³/hr (32°C入口~37°C出口) 送風機 500 l/min 圧縮機 10,100 m³/hr × 35mmφ (機外) 送風機 110 l/hr 加圧機 7.1レド型 ユニツト型	1				人-Δ CT-2 CDHP-1	防振設置(金属ファン) 防振 基礎台 (金属) 1台 ファンコイル型 350W 圧縮機 240W	
PAC-1	個別空調機		1F 第1室-1 2F 第1室-1 3F 第1室 4F 第1室	冷房能力 2,300 kcal/hr 送風機 290 kcal/hr 圧縮機 7m³/min 送風機 7m³/min 送風機 7m³/min	8	3	200	0.75	L-S		
PAC-2	個別空調機		1F 第1室-2 2F 第1室-2 3F 第1室-2	冷房能力 4,000 kcal/hr 送風機 480 kcal/hr 圧縮機 10.5 m³/min 送風機 10.5 m³/min 送風機 10.5 m³/min	24	3	200	1.1	L-S		
PAC-3	個別空調機		3F 第1室	冷房能力 5,000 kcal/hr 送風機 620 kcal/hr 圧縮機 15 m³/min 送風機 15 m³/min 送風機 15 m³/min	1	3	200	1.5	L-S		
CT-1	冷却塔 (FRP他種タイプ)	大講堂・小講堂用	RF	冷却能力 487,500 Kcal/hr (125RT相当) 冷却水 1,625 l/min (37°C入口~32°C出口) 送風機 1,500 φ × 890 m³/min	1	3	200	3.7	L-S	PAC-1,2	自動運転方式付 防振コンクリート 基礎コンクリート (H=800 W=300 L=300) × 3本
CT-2	冷却塔 (FRP他種タイプ)	各教室・事務室用	RF	冷却能力 390,000 Kcal/hr (100RT相当) 冷却水 1,300 l/min (37°C入口~32°C出口) 送風機 1,500 φ	1	3	200	2.2	L-S	PAC-3	自動運転方式付 防振コンクリート 基礎コンクリート (H=800 W=300 L=300) × 3本
B-1	ボイラー (灯油系セクタール)	小講堂・小講堂用	1F 機械室	発熱出力 475,000 Kcal/hr 換気面積 17.5 m² 燃料消費量 78 l/hr 最高燃焼圧 50% バート型	1	3	200	0.4	L-S		基礎コンクリート (W=1200 L=1600 H=200)
AE-1	ルームエアコン (空冷ヒートポンプ式)	管理入居	1F	冷房能力 4,000 Kcal/hr 暖房能力 6,000 Kcal/hr 圧縮機 3 ヒートポンプ 3 室外機 3	1	3	200	1.5	L-S		屋外コンクリート基礎 (1500×1500×200)
CDP-1	冷却水ポンプ	大講堂・小講堂用	1F 機械室	100φ × 80φ × 16.25 l/min × 16m-A9	1	3	200	11	人-Δ	CT-1	基礎コンクリート 1500×1500×200 防振設置(基礎コンクリート) 防振
CDHP-1	冷却水ポンプ	各教室・事務室用	1F 機械室	80φ × 65φ × 1,300 l/min × 20m-A9	1	3	200	7.5	L-S	CT-2	上
HP-1	温水循環ポンプ			80φ × 65φ × 850 l/min × 20m-A9	1	3	200	5.5	L-S		上
WT-1	水処理装置 (冷却水用)	CT-1用	RF	水処理装置システム 御機注注入装置 100 l/min スラッジ処理装置 100 l/min (制御室(配管配管))	1	3	200	0.03	L-S	CDP-1	基礎コンクリート H=150

※ 斜線部分は除却を指示。
※ 斜線部分に設置されている設備は共同設備とする。

空調機器表(2)

機器番号	機器名称	系統名	設置場所	仕様	台数	電 気				備 考		
						組(φ)	電圧(V)	出力(KW)	起動方式			
WT-2	水処理装置 (冷却温水用)	CT-2用	RF	水処理装置システム 防錆注入装置 100ℓ 100ℓ/min × 3 ㎏/cm ² (制御盤(配管配管共))	1	3	200	0.03	L-S	CDHP-1 HP-1	基礎工あり(H=150)	
OGP	オイルサーボポンプ			12φ × 4.2/min × 3 ㎏/cm ²	2	3	200	0.2	L-S	0.5-1	基礎工あり(H=200) 防錆型	
H-1	冷温水サーボポンプ			銅製 本頭圧 寸法 管径 50φ 内外面部磨鏡4ヶ所以上 200φ × 2,400mm/重量100kg/1,500(吊吊) 200φ × 2,125mm/重量100kg/1,500(吊吊) 銅製 本頭圧 寸法 管径 50φ 内外面部磨鏡4ヶ所以上 200φ × 2,125mm/重量100kg/1,500(吊吊) 銅製 本頭圧 寸法 管径 50φ 内外面部磨鏡4ヶ所以上 200φ × 2,125mm/重量100kg/1,500(吊吊)	1							基礎工あり(H=200 W=1000 L=500) × 2ヶ
H-2	冷温水レタナッサー			銅製 本頭圧 寸法 管径 50φ 内外面部磨鏡4ヶ所以上 200φ × 2,125mm/重量100kg/1,500(吊吊) 銅製 本頭圧 寸法 管径 50φ 内外面部磨鏡4ヶ所以上 200φ × 2,125mm/重量100kg/1,500(吊吊)	1							全上
OTS-1	オイルメインタンク	本館用	床下収納	地下式埋込(床下) 消防用容量 4,900ℓ 消防用容量	1						タリATH-3-1付 附属品(消防用)を各々添付する	
OS-1	オイルレボスタック		1F 鉄板室	銅製 鉄板 消防用容量 700ℓ 深さ1000 700 × 700 × 1000 H × 5.2ℓ 4.50φ 内部10ヶ所 0.4 M/H 外部錆止塗装 0.2 鋼板付 断熱ポリウレタン	1						防油膜(建築工事) 基礎工あり(H=200)	
EXT-1	膨張水槽		RF	銅製 鉄板 消防用容量 700ℓ 深さ1000 H × 5.2ℓ 4.50φ 内部10ヶ所 0.4 M/H 外部錆止塗装 0.2 鋼板付 断熱ポリウレタン	1						基礎工あり(H=300) 茶台(アルミ茶台 H=1000)	
ECV-1	全熱交換器	大講義用	2F 鉄板室	処理风量 12.675 m ³ /hr 寸法 1000 × 1000 × 1000 1000 × 1000 × 1000	2	3	200	0.2	L-S		ケビシク 7L7M/安 (1000mm × 1000mm × 1000mm)	
ECV-2	全熱交換器	小講義用	3F	処理风量 5.300 m ³ /hr 寸法 1000 × 1000 × 1000	1	3	200	0.1	L-S		全上	
F-1	片喰給気装置同機 (給気用)	鉄板室ボイラ室	1F 鉄板室	SS # 2 1/2 × 4,910 m ³ /hr × 20 mmA _φ	1	3	200	1.5	L-S		据付は詳細図参照	
F-2	(排気用)	鉄板室ボイラ室		SS # 2 × 2,520 m ³ /hr × 20 mmA _φ	1	3	200	0.75			全上	
F-3	(給気用)	配気室	1F	SS # 2 × 2,900 m ³ /hr × 20 mmA _φ	1	3	200	1.5			全上	
F-4	(排気用)	配気室	1F	SS # 2 × 2,900 m ³ /hr × 20 mmA _φ	1	3	200	1.5			全上	
F-5	親子室天井給気装置	管理入室使用	1F	親子室 120 m ³ /hr × 5 mmA _φ	1	1	100	186 W				
F-6	レンジフード	管理入室台所	1F	500 m ³ /hr × 5 mmA _φ	1	1	100	125 W			外部シェーカーバー(700mm)	
F-7	厨房排気機 (給気用)	1F 大使用	1F 前下	天吊直動型 SS # 1 1/4 × 1,620 m ³ /hr × 15 mmA _φ	1	3	200	0.75			消音ファン付	
F-8	(排気用)	男トイレ	1F	天吊直動型 SS # 1 × 650 m ³ /hr × 15 mmA _φ	1	1	100	0.2			消音ファン付	
F-9	中廊下付給気ファン	湯沸室(2.3F)	103F	500 m ³ /hr × 15 mmA _φ	3	1	100	180 W			消音ファン付	
F-10	天井取付給気ファン	印刷室	1F	380 m ³ /hr (200φ)	1	1	100					
F-11	中廊下付給気ファン	1F 各階階段下	1F	110 m ³ /hr × 10 mmA _φ	2	1	100	75 W			消音ファン付	
F-12	(排気用)	1F 全館	3F	500 m ³ /hr × 5 mmA _φ	1	1	100	180 W			全上	
F-13	片喰給気装置同機 (給気用)	2.3 F 便所	2.3F	天吊直動型 SS # 1 1/4 × 820 m ³ /hr × 10 mmA _φ	2	1	100	0.4			全上	
F-14	片喰給気装置同機	大講義		SS # 3 1/2 × 12,675 m ³ /hr × 50 mmA _φ	2	3	200	5.3			据付は詳細図参照	
F-15	(排気用)	小講義		SS # 2 × 5,300 m ³ /hr × 50 mmA _φ	1	3	200	3.7			全上	
F-16	調理器具排気機	3F		SS # 2 × 3,000 m ³ /hr × 25 mmA _φ	1	3	200	1.5			全上	
F-17	換気扇	E V 鉄板室	PH	換気扇 840 m ³ /hr 200φ 低騒音有圧扇	1	1	100	0.050			付-モ付	
F-18	(排気用)	浄化槽	1F	低騒音有圧扇 300φ × 1,000 m ³ /hr	1	1	100	0.057			付-モ付	

※斜線部分は撤去範囲を示す。
※各機台設置されている最寄壁台共撤去とする



2階平面図 縮尺 1:100

※斜線部分は撤去範囲を示す。

御注文先	三原市役	御承認	月日	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐 2丁目 3番30号 TEL (082) (255) 5901-8	1級建築士事務所 登録18(1)第1252号 1級建築士登録 第 29365号 橋本 誠二	1級建築士登録 第 262345号 坂本 薫	校閲 設計 	工務名称 三原市中央公民館空調換気設備改修工事(機械設備工事)	図面番号 M-14
			記事				設計年月日 2021.03	図面名称 改修前 空調換気設備 2階平面図	縮尺 1/100